

一般社団法人シビックテック・ラボ 代表理事
一般社団法人Code for Japan コンサルタント
市川 博之



Icebreaker

■ここは、自治体や民間の持つすべてのデータをオープンデータとして公開されている星です。

◆この世界では、どんなことが起こっているでしょう。

◆この世界の市民は、どんな表情でしょう？



今、想像したポジティブなイメージを残しつつ

■さあ、ワークショップを始めるよ



じゃあ、ディスカッションしましょうか

10分

■各チームに目標を決めましょう。

No.	目標
1	上層部がオープンデータを推進してくれている状況
2	現課の職員がオープンデータ使いたい！解放したい！と思える状況
3	市民と協働でオープンデータの推進ができている状況

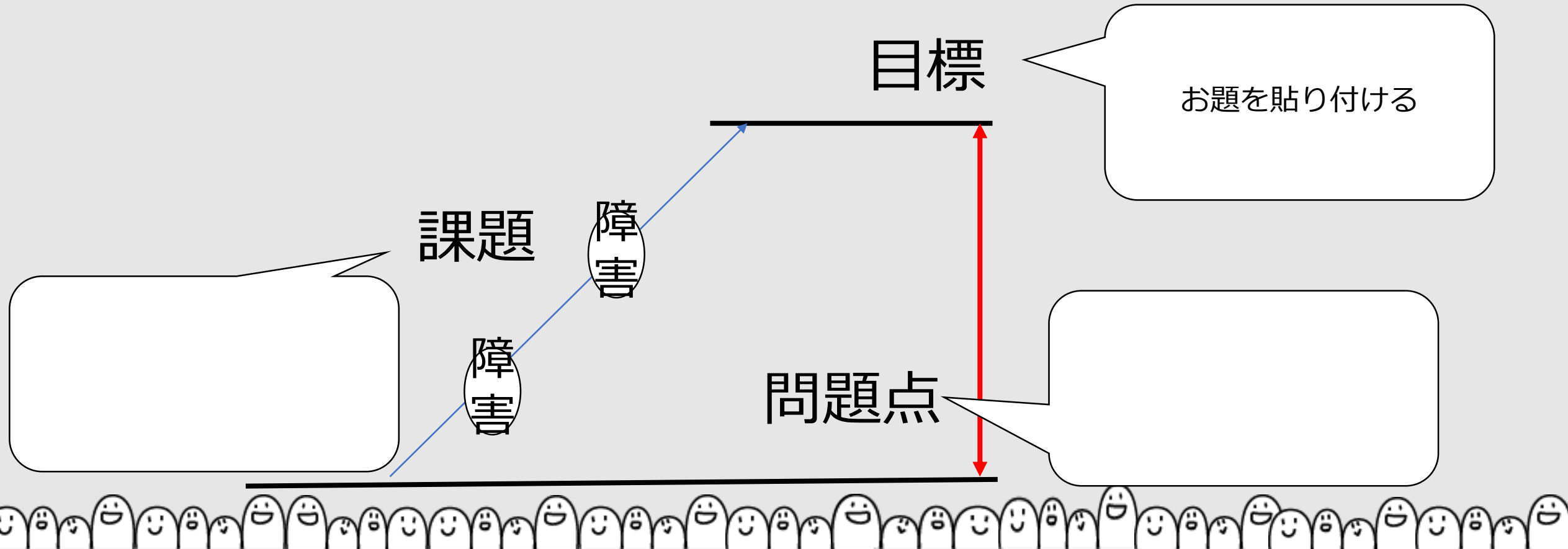
■これから、その目標に向かうための現状とのギャップ（問題点）と課題を考えてもらいます。

■問題は1つ、課題は複数考えましょう。



この図を書いて、問題点と課題をあげる

- ◆ どのような状態にするべきか（目標）
- ◆ それが出来ていないことで何が困っているのか？（問題点）
- ◆ 障害となっているものは何か？（課題）



課題の打ち手を考える

10分

■では、課題について打ち手を考えてみましょう。

	広域でできること	庁内のルール	教育・布教	その他
課題 1				
課題 2				
・ ・				



隣のチームに行ってぶっ壊してもらいましょう 10分

- みなさん、得意な時間がきましたよ。
- 誰か1名が代表となり、隣の島に行き、課題と打ち手を説明してください。
- 隣の島の方は、それを聞いて、反対意見、否定をたくさん出してください（付箋に書き出す）
- 説明者は、反論せず、その意見をよく聞きましょう。



今の意見を反映して、もうひと揉みします 10分

- 否定的意見を打ち消す手を加えて、最後に各班の発表とします！

